

# 庵主様へ

新盆も過ぎ、けさの雨が何かを洗い流してくれなかのようでした。  
白曜の日には、突然の大雨電話にもかかわらず、お導きいただきました。  
すぐに向かうと迷うことなく着き、施設がなまぬてありましたから、  
山道を見上げながら下り、釣堀を楽しんで帰りました。  
十月難うございました。

さて、墓参りの日のこと。実家に着くやいなや、先から、昨日母が  
交通事故に会い、救急車を運ばれ、頭を針縫ったけど、処置  
した後、帰宅できたと話すのです。

いつも通りの母がいました。話すことが不思議なほどに静かに  
苛立ちもなく聞く自分がいました。そして、ほんという幸運が母にあるの  
と胸をなでおろしたのです。

そんな自分に驚かされています。

墓参りにそばにいた夫とは、昨日、母のことで話し、普段から、良く言わないので、  
古く顔で母の心配を話すのです。そんな夫にも、驚かされています。

この数日間のことが、今になるとお祈りのお計らいと思えるのです。

今までのない墓参りとなり、庵主様に会って良かったと

心から思いました。是非にも、吉野谷の案内した日  
が、ありますように、お待ち申し上げます。

これから、何卒、お導き賜りたく、お願い申し上げます。

かしこ

松田清幸様

お目にかかった日のように、やさしいお花は、  
クワトマと思えますが、